



株式会社ブロードバンドタワー

(証券コード：3776)

2017年6月期

事業報告会説明資料

2017年9月15日

1

2017年6月期業績について

2

今後の戦略について

3

2018年6月期について

1

2017年6月期業績について

■ 本年1月、新データセンター開設を推進

⇒2018年8月開設予定

■ 本年4月、グローバルIoTテック1号投資事業組合を設立

■ 人工知能サービス等を提供するエーアイスクエア本格始動

⇒本年5月、株式会社メディアドウと資本業務提携

■ 本年6月30日、連結子会社であるビービーエフ株式の一部譲渡

⇒持分法適用関連会社へ

連結子会社

コンピュータプラットフォーム

◆ エーアイスクエア

人工知能を活用したサービスの提供

◆ BBTOWER SAN DIEGO INC.

IoTビジネスの海外拠点

◆ グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ

ベンチャー企業等が保有するIoT先端技術の事業化推進等

◆ グローバルIoTテック1号投資事業組合

IoT先端技術ベンチャー企業等への投資

ファッションビジネスプラットフォーム

◆ ビービーエフ

EC業務支援サービス
TVショッピング支援サービス

◆ ブランチ・アウト

ファッションホール
セールサービス

◆ 上海布藍綺国際貿易有限公司

中国におけるファッションホール
セールサービス

持分法適用関連会社

◆ Ingenico Japan

決済関連ビジネス

◆ 米国EvaerySense, Inc.

IoT関連ビジネス

◆ キャンパスナビTV

動画配信を用いたプロモーション等

本年6月30日、ビービーエフ株式の一部譲渡により連結子会社から持分法適用関連会社へ。
但し、2017年6月期は連結損益計算書へ業績を反映。（上記は株式譲渡前）

2017年6月期 通期業績概況(連結)

(単位:百万円)	2016年6月期 実績	2017年6月期 実績	前期比	
			金額	増減率
売上高	34,788	38,987	4,198	12.1%
売上原価	28,813	32,382	3,569	12.4%
売上総利益	5,975	6,604	629	10.5%
(利益率)	17.2%	16.9%	-	-
販管費	5,317	5,758	440	8.3%
営業利益	657	846	188	28.7%
(利益率)	1.9%	2.2%	-	-
経常利益	553	767	214	38.8%
(利益率)	1.6%	2.0%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△9	427	436	-
(利益率)	-	1.3%	-	-

ビービーエフグループの売上げ拡大

ビービーエフグループの売上げ拡大に伴う売上原価の増加

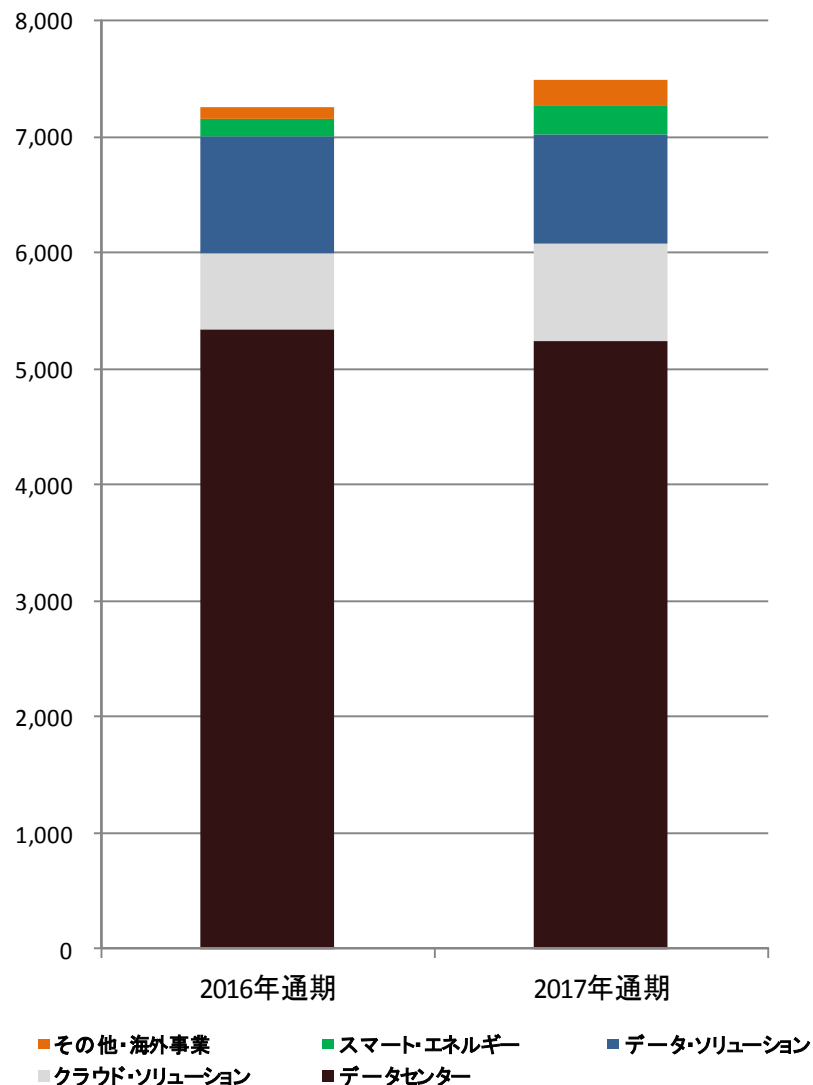
- ・ビービーエフ：売上げ拡大に伴う業務委託費等の増加。
- ・ブランチ・アウト：広告宣伝費、ライセンス費の増加。

持分法投資損失119Mを計上

ビービーエフ株式売却益1,542M
減損損失163M
投資有価証券評価損162M
繰延税金資産の取崩し361M

セグメント別売上高:コンピュータプラットフォーム

(単位:百万円)



コンピュータプラットフォーム事業
7,437百万円 (前年同期比204百万円増収)

その他・海外事業: 225百万円 (前年同期比+122百万円)
⇒ エーアイスクエア社の売上げ貢献

スマート・エネルギー: 242百万円 (同+93百万円)
⇒ 日光の売電がフル寄与

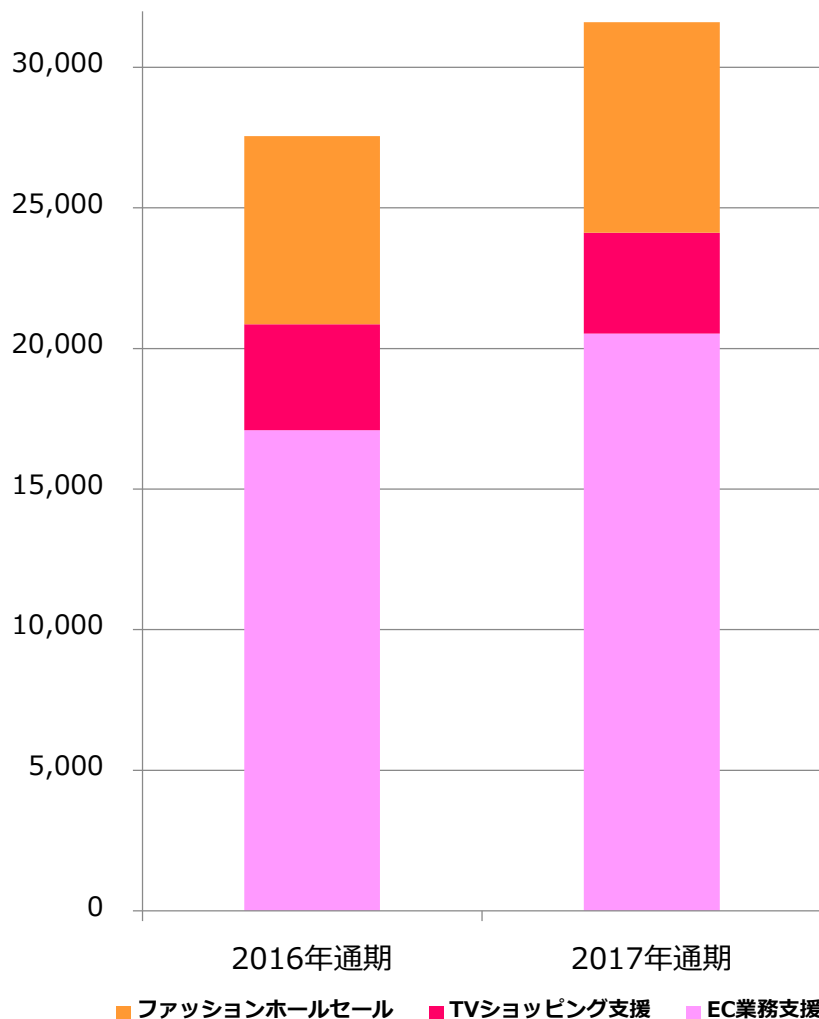
データ・ソリューション: 946百万円 (同△66百万円)
⇒ Isilonが多少伸び悩み

クラウド・ソリューション: 831百万円 (同+174百万円)
⇒ サービスラインアップの拡充により増収

データセンター: 5,247百万円 (同△90百万円)
⇒ 前期並み

※サービス別の売上高は内部振替調整前の数値にて表記

(単位：百万円)



ファッションビジネスプラットフォーム事業
31,550百万円 (前年同期比3,993百万円増収)

ファッションホールセール：7,482百万円 (前年同期比+781百万円)
 ⇒しまむら向け売上げ増加、商品企画・販促企画が奏功

TVショッピング支援：3,586百万円 (同△180百万円)
 ⇒QVC向けの売上が減少

EC業務支援：20,534百万円 (同+3,442百万円)
 ⇒既存ブランドの売上拡大が牽引

※サービス別の売上高は内部振替調整前の数値にて表記

2017年6月期はビービーエフグループの損益については連結しているが、2018年6月期以降は持分法を適用。

2017年6月期 通期要約BS・CF(連結)

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2016年 6月末	2017年 6月末		2016年 6月末	2017年 6月末
現金及び預金	4,822	5,363	買掛金	2,937	466
受取手形・売掛金	3,629	1,222	短期借入金 1年内長期借入金	1,463	1,384
有価証券	1,599	1,599	未払法人税	248	741
商品及び製品	800	178	その他	1,375	658
繰延税金資産	126	-	流動負債合計	6,025	3,250
その他	350	381	長期借入金	984	1,175
貸倒引当金	△4	△2	その他	875	898
流動資産合計	11,325	8,743	固定負債合計	1,859	2,073
有形固定資産	2,538	2,188	負債合計	7,884	5,323
無形固定資産	452	75	株主資本合計	7,756	8,113
投資その他の資産	1,970	2,523	その他包括利益 累計額	△121	△52
固定資産合計	4,962	4,787	新株予約権	13	13
			非支配株主持分	754	132
			純資産合計	8,402	8,207
資産合計	16,287	13,530	負債純資産合計	16,287	13,530

	2016年6月期 通期実績	2017年6月期 通期実績
営業活動CF	741	877
投資活動CF	△1,661	△901
財務活動CF	299	712
現金及び現金同等 物の期末残高	6,227	6,963

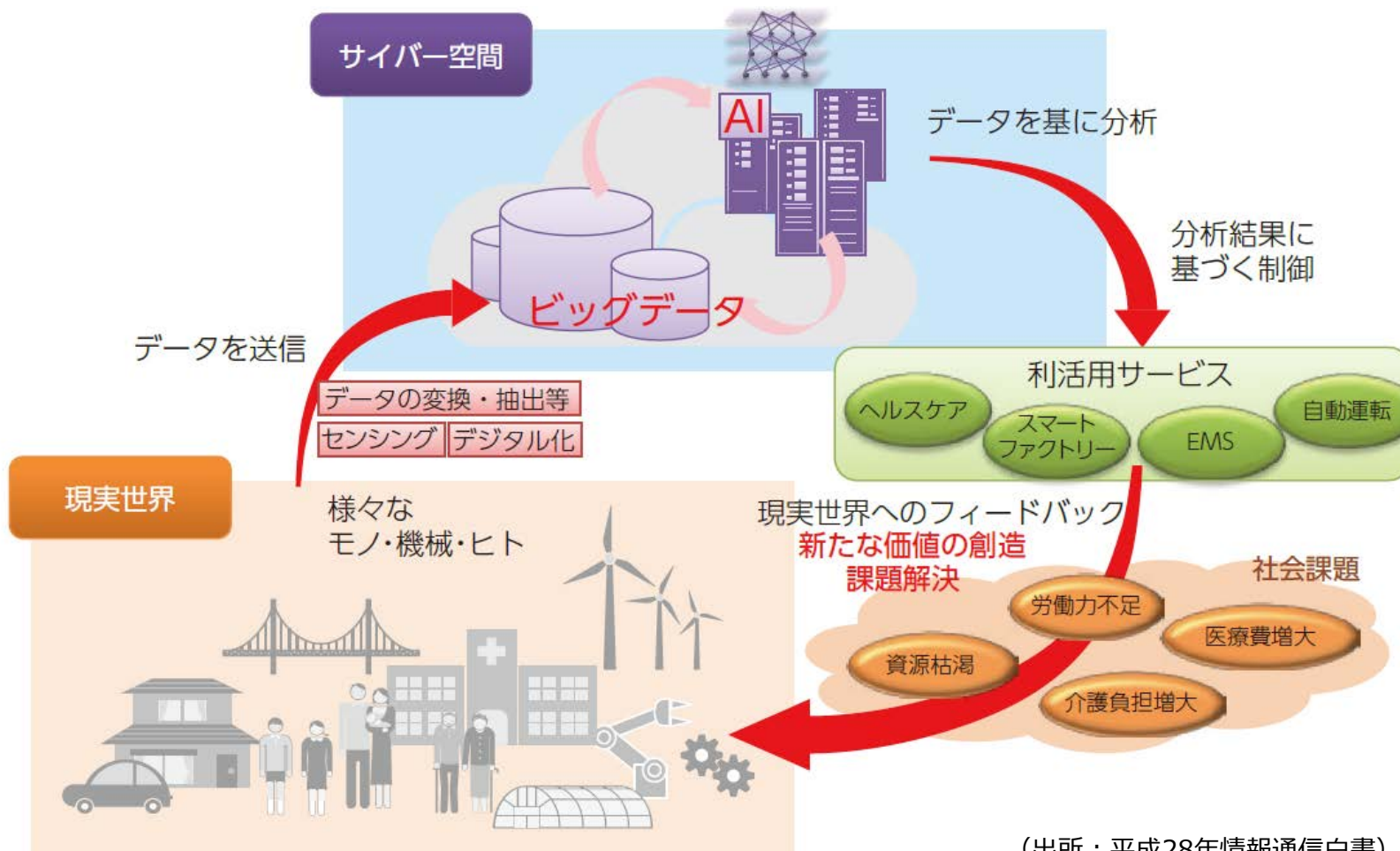
【キャッシュ・フロー主な内訳】

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
 - 税金等調整前当期純利益 1,983百万円
 - 減価償却費 430百万円
 - 関係会社株式売却益 △1,542百万円
 - 売上債権の増減 △1,225百万円
 - 仕入債務の増減 714百万円
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
 - 有形固定資産の取得による支出 △761百万円
 - 投資有価証券の取得による支出 △381百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
 - 短期借入金の増減 500百万円
 - 長期借入金の増減 211百万円

2

今後の戦略について

- ▶ デジタルトランスフォーメーション時代の幕開け
 - ✓ データが知識へ変換されサイバー空間と現実世界を往復



(出所：平成28年情報通信白書)

IoT/ビッグデータ/AI関連を成長領域と設定

事業の選択と集中
(既存事業の強化、新規事業の創出)

連結子会社ビービーエフ株式の一部譲渡で得た資金を
成長領域へ投下

➤ 既存事業の強化、新規事業の創出・育成

重点施策

(既存事業) 新データセンターの開設

(新規事業) 特化型AIサービスの伸長

既存事業

新規事業

データセンター

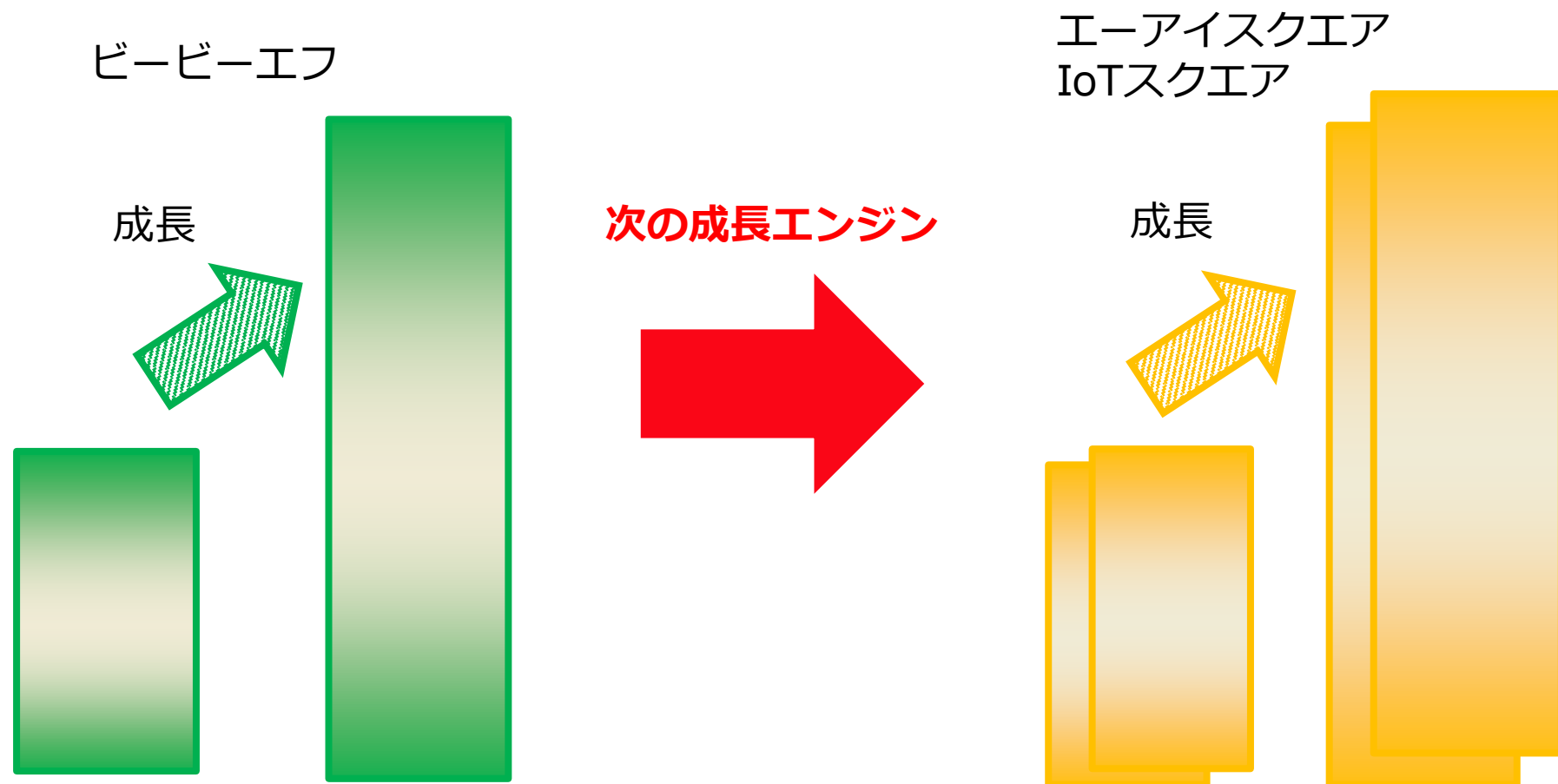
ネット
ワーク

クラウド

IoT/AI/ビッグデータ

➤ 社内アントレプレナーシップ創出型企业体質を維持・発展

- ✓ ビービーエフに続いてエーアイスクエア、IoTスクエア等が次の成長エンジンへ



3

2018年6月期について

2018年6月期より、下記のセグメントに区分変更。

旧セグメント

コンピュータプラットフォーム

- ・データセンター
- ・クラウド
- ・データソリューション
- ・スマートエネルギー
- ・その他（新規事業等）

ファッションビジネスプラットフォーム

- ・EC業務支援サービス
- ・TVショッピングサービス
- ・ファッションホールセール

新セグメント

コンピュータプラットフォーム

- ・データセンター
- ・クラウド
- ・データソリューション
- ・その他

IoT/AIソリューション

- ・太陽光発電
- ・AI（エーアイスクエア）
- ・グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ等

メディアソリューション

- ・動画配信
- ・ネットシネマ等

▶ 当社データセンターの特長

■ 60Gbpsを超える回線総量を確保

60Gbpsを超える高品質なバックボーンネットワークを有し、高速で広帯域なインターネット接続環境を提供。瞬間的に発生する膨大なトラフィックにも対応可能。

■ キャリアニュートラル

回線提供業者に制約を設けておりません。ニーズ、コスト面などの条件に応じてお客様にとって最適な回線を提供。

■ 主要IXとの構内接続が可能

ブロードバンドタワー都内の拠点である大手町データセンターでは、日本国内ほぼすべてのIX事業者との構内でのケーブル接続が可能。大容量のトラフィックが発生するコンテンツ配信事業やミッションクリティカルなネット関連事業などの拠点としての利用に最適。



➤ 新データセンターの開設に着手。事業基盤の強化・進化を図る

✓ IDC(インターネット専門
データセンター事業者)の
パイオニアとして、
新データセンターの開設に
着手

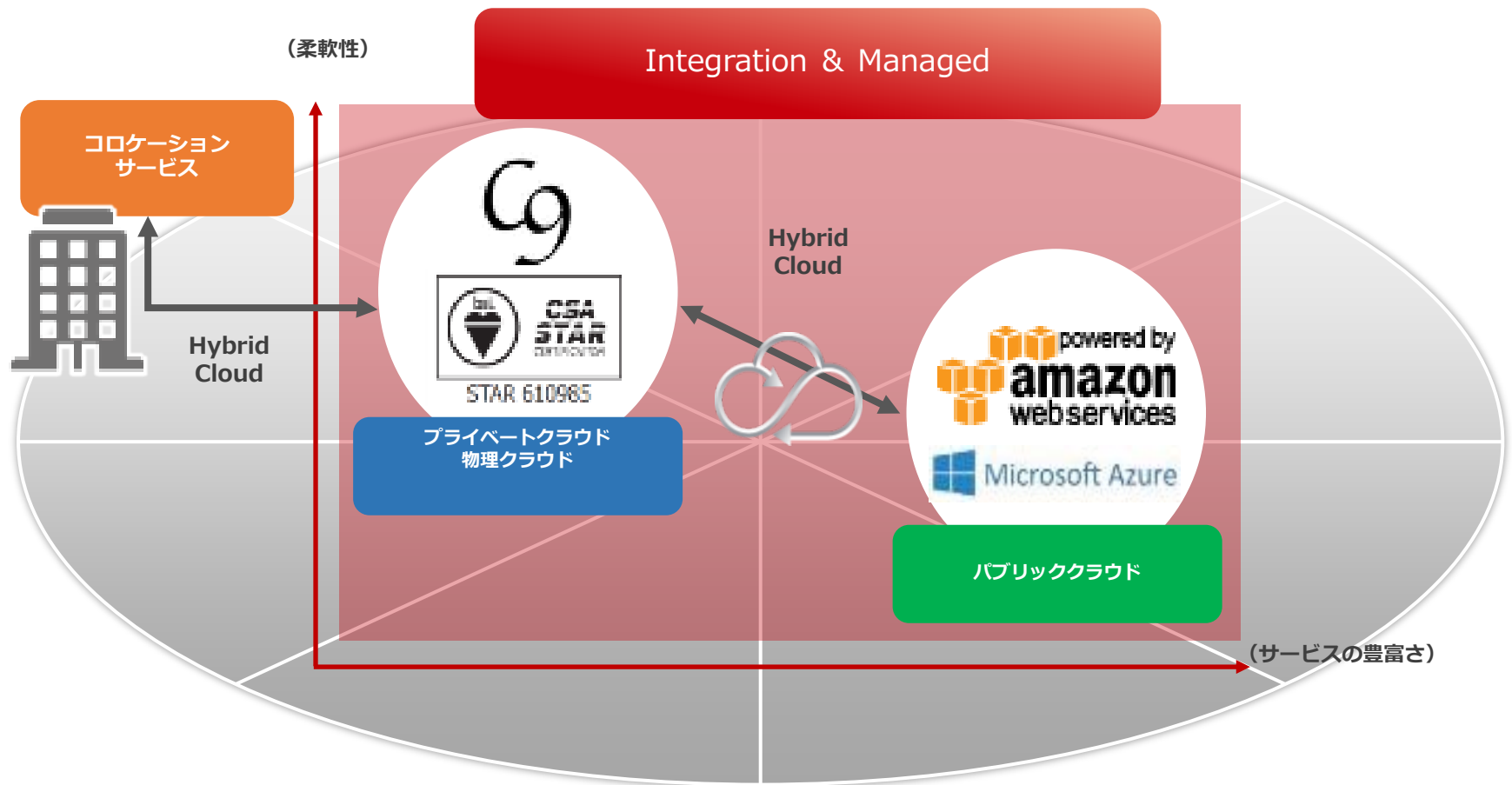
✓ IoT時代にふさわしい
超高速、超低遅延、
超多地点同時接続仕様に
対応可能なデータセンター

新データセンター概要

所在地 : 千代田区
建物構造 : ハイブリッド制震構造
面積 : 約3,000㎡
ラック数 : 約750ラック
受電方式 : 特別高圧66 kV
発電機給電時間 : 約72時間

最適なIX接続環境・クラウド接続
環境・エッジ接続環境を提供

- ▶ プライベートクラウド、パブリッククラウドの特性を踏まえ、お客様に最適なインフラを提案・提供



- 本年、米国Dell Technologies Inc.より「Partner Services Quality (PSQ) Award」を受賞



- データ量の増大に伴い市場拡大が見込まれるSDS製品Scalityを投入

Scality RING



- ・標準的なIAサーバを利用するSoftware Defined Storage。ペタバイト級の容量へ拡張可能。

Dell EMC Isilon



- ・当社取扱い主力製品

Nimble Storage



- ・フラッシュメモリとハードディスクを組み合わせたハイブリッドストレージ

Dell EMC Unity



- ・ハイブリッドまたはオールフラッシュのストレージ

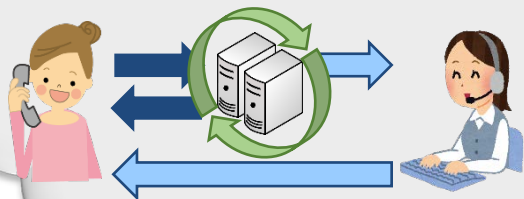


データアーカイバー

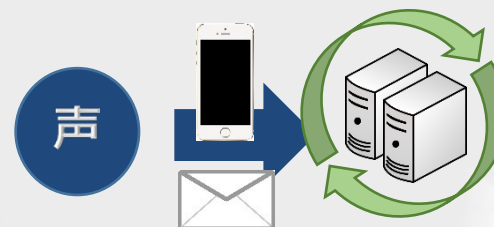
- ・100年以上のデータ保存寿命をもつ追記型 Blu-ray Diskを使用した光ディスクライブラリ

- 連結子会社イーアイスクエア社
自然言語処理AIによりイノベーションを推進

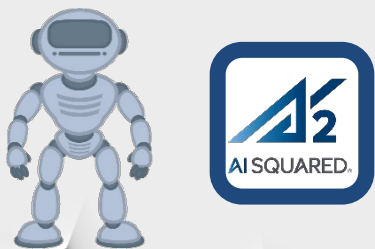
次世代型コンタクトセンター



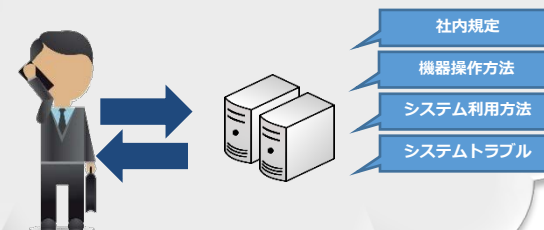
VoC分析



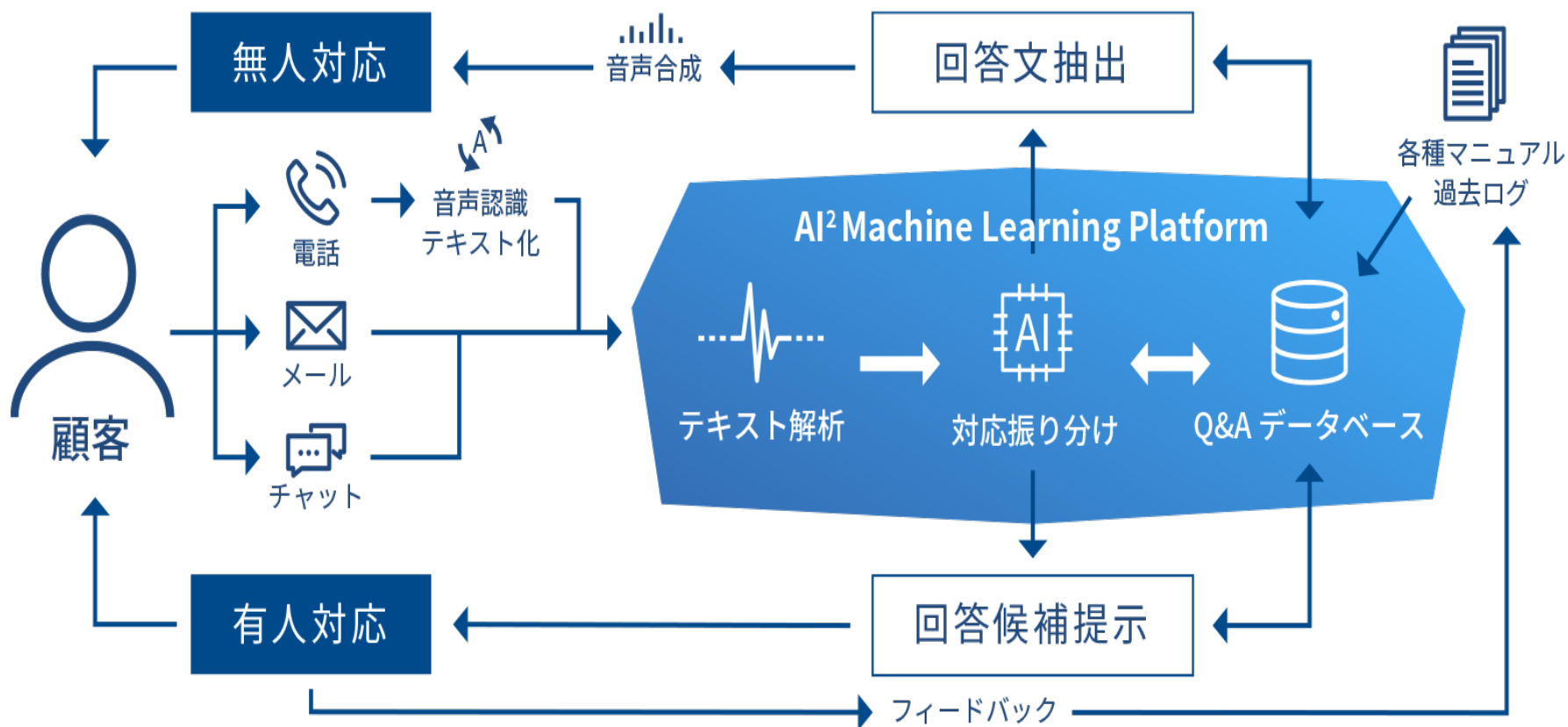
チャットボット



社内ヘルプデスク

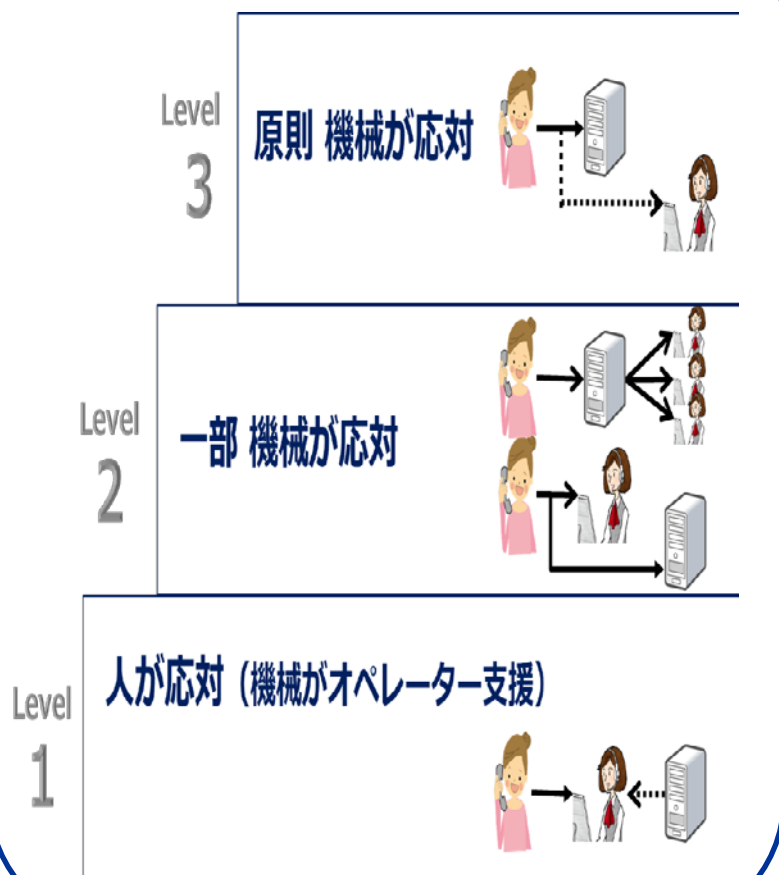


- 独自の自然言語処理技術を活用し、AIが問い合わせに回答



➤ コンタクトセンターソリューションに加え、新たなサービス開始へ

コンタクトセンターサービス



ヘルプデスク業務で
トライアル開始

株式会社トランスネットにおける
ヘルプデスク業務にAIを活用。
Q&Aの整備、機械学習を実施

株式会社メディアドウと
資本業務提携

電子書籍、新聞記事、ニュース等の
ウェブコンテンツその他文字情報
全般のAIテキスト要約事業を共同で
実施。

➤ IoTの現況に関する課題認識

- ✓IoTによって収集された情報が、各産業分野・企業・組織の中に閉じられた「垂直統合型」に留まっている。
- ✓本来インターネットが持つ自律分散、相互接続というメリットによる創造的な産業革新を引き起こすに至っていない。

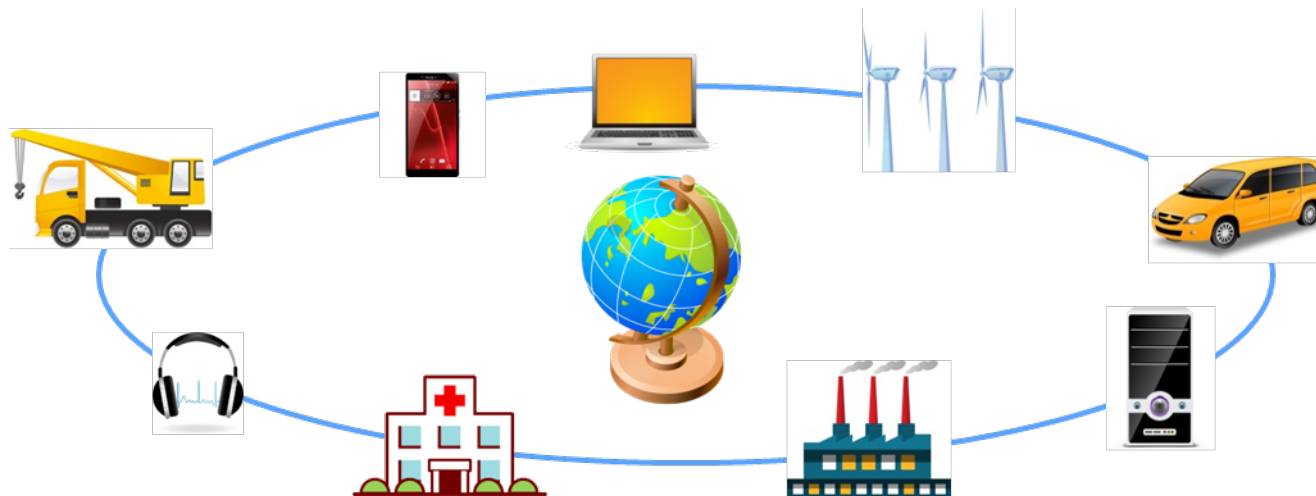


この状況は、IoTが持つ大きな可能性によって起こすことが出来るイノベーションや課題解決を妨げる大きな要因。

- IoT事業を推進するため、分社化し「株式会社IoTスクエア」を本年10月2日に設立予定。



これまでブロードバンドタワーで行っていたIoT事業、コンシューマ事業等の新規事業を分社化し、次世代に向けたIoT事業やIoTとAI（人工知能）の融合を図っていく。



- ▶ エブリセンスがデータを流通交換させる仕組みである「IoT情報交換市場」を創設



- ▶ データ取引活性化に求められる利便性の向上、ユーザー参加の促進に取り組む。

Information Harvesting

“情報”を集める動きが加速する

EverySense から新たな価値が創造されます。

琉球新報社 2017年7月30日 26面
ネットシネマ「よみがえれ 勝連城！」



認知向上

興味

ロコミ

イベント参加

いいね!

シェア

共感

購入

商品・
サービスを
世の中に
広めたい!



デジタルCATV/ISP



インターネット動画メディア



インフルエンサーマーケティング(SNS動画広告)



動画配信

ユーザにマッチした
メディアネットワークに配信

ツイッターによる
マーケティング



映像・動画制作

クライアント

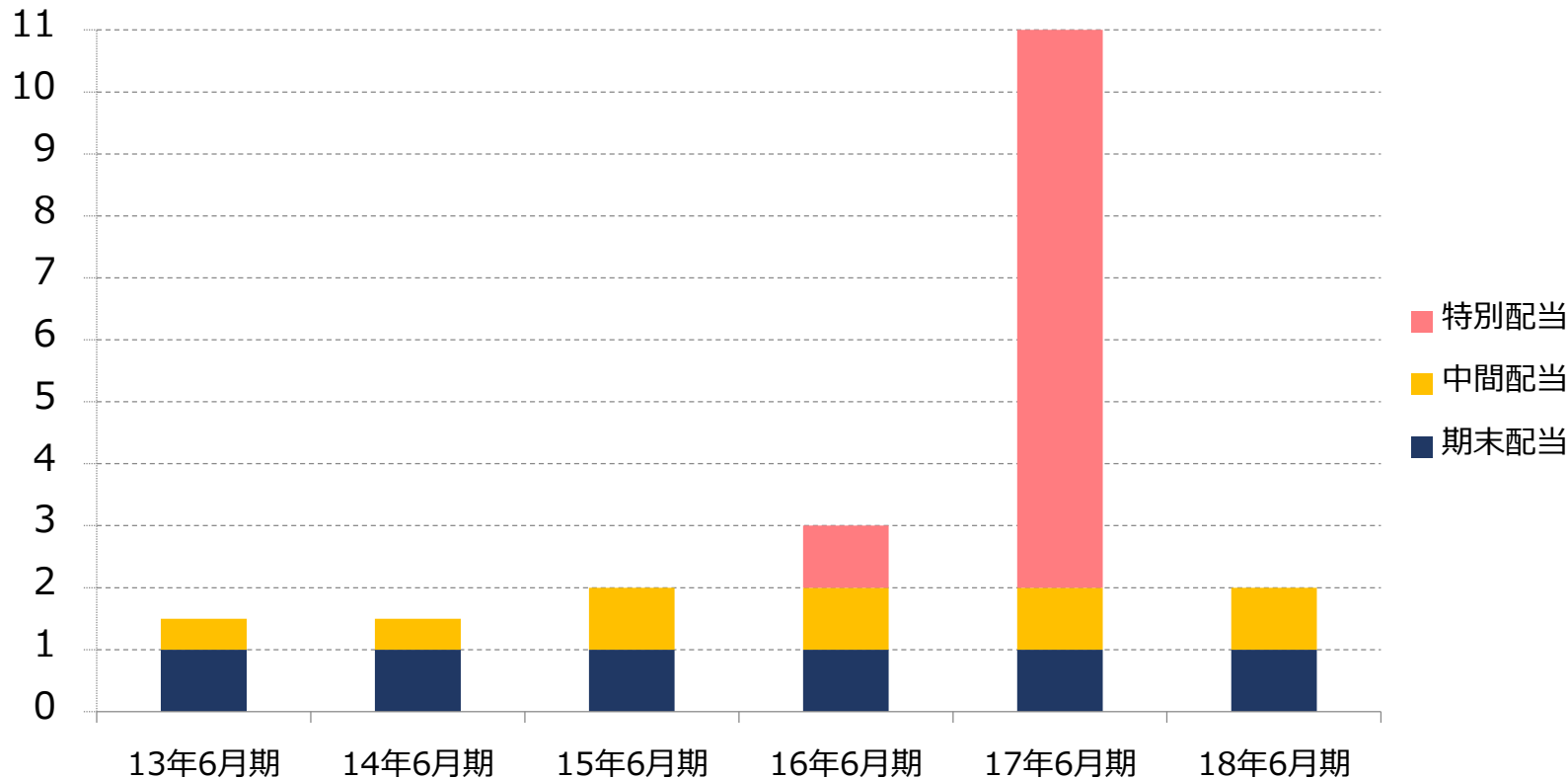
- ▶ ビービーエフグループが連結子会社から持分法適用関連会社となった影響を受けるが、新規事業の創出・育成、既存事業の強化を進める。

(単位：百万円)	2017年6月期実績	2018年6月期予想	増減率
(連結)			
売上高	38,987	10,200	△73.8%
営業利益	846	100	△88.2%
経常利益	767	200	△73.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	427	100	△76.6%
(個別)			
売上高	7,388	7,200	△2.6%
経常利益	94	△200	—
当期純利益	744	50	△93.3%

- 継続的な安定配当に加え、特別配当を実施。
→17年6月期は中間配当1円、期末配当1円に加え、特別配当9円、年間配当11円を実施

(単位：円)

1株当たり配当金の推移



ビッグデータビジネスを支える。 世界をつなぐ 多彩なソリューション

インターネット黎明期から変わらない信頼性。
ソーシャル時代の今、そして未来と世界をつなぐ
IDCを基軸としたお客様ニーズに合わせたサービスを
高度な運用技術と共にご提供します。



データセンター
コロケーションサービス
大容量かつ高速なインター
ネット接続と快適なサーバ
運用環境を提供

詳しく見る



実績・導入事例
株式会社メディアド様
コンテンツ配信エンジン用の
ストレージ基盤にEMCアイシ
ロンを採用

詳しく見る



ストレージ
Scality RING
ペタバイト規模の拡張性をも
つソフトウェア・デファイン
ド・ストレージ

詳しく見る

IRトピックス

株式会社ブロードバンドタワー
代表取締役会長兼社長CEO
藤原 洋のコラム

<http://www.bbtower.co.jp/>

本資料は、2017年6月期通期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2017年6月末日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証しまたは約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。



5G Innovations